

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス

上場取引所 東

 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,152	6.7	308	26.3	300	29.0	167	23.4
25年3月期第3四半期	4,829	8.9	244	9.9	232	9.3	135	7.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 167百万円 (23.4%) 25年3月期第3四半期 135百万円 (7.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	34.63	34.14
25年3月期第3四半期	28.07	27.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第3四半期	6,823		2,978		43.5	
25年3月期	6,875		2,855		41.4	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,968百万円 25年3月期 2,849百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,254	9.7	418	22.9	408	25.4	228	18.6	47.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	4,830,000 株	25年3月期	4,830,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	800 株	25年3月期	800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	4,829,200 株	25年3月期3Q	4,829,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国の経済環境は、公共投資が引き続き増加基調にあり、個人消費は堅調に推移し、生産活動、雇用環境も回復傾向を示すなど緩やかに回復しつつあります。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、新型車投入による新車効果、平成26年4月に予定されている消費税率引き上げを見据えた駆け込み需要の発生等により、当第3四半期連結累計期間の国内新車販売台数は3,847,505台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比4.5%増）となりました。

車種別では、ハイブリッド車（フィットハイブリッド、アクア等）、軽自動車（NBOX、ムーヴ等）、コンパクトカー（フィット、ノート等）が販売の上位を占めております。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、「フィット」、「オデッセイ」等の新型切替による新車効果、消費税率引き上げを見据えた駆け込み需要の発生、「NBOX」等届出車の販売が堅調に推移したこと等により、販売台数は1,666台

（前年同四半期比7.9%増）となりました。また、10月以降販売車種構成が変化したことから1台当りの販売価格も上昇しました。車検・12か月点検など整備業務を行うサービス売上、登録受取手数料等の手数料収入は共にほぼ前年同四半期並みで推移し、売上高は41億65百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売の回復に伴い下取車入庫も増加しましたが、オークション等からの外部仕入も行い、引き続き販売車両の確保に注力しました。販売台数は1,567台（前年同四半期比0.1%増。内訳：小売台数714台（前年同四半期比3.0%増）、卸売台数853台（前年同四半期比2.3%減））となりました。また、比較的販売価格の高い小売台数の販売比率が前年同四半期に比べて増加したことから1台当たりの販売価格は上昇しました。整備業務を行うサービス売上は増加、登録受取手数料等の手数料収入はほぼ前年同四半期並みで推移し、売上高は9億7百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では保険契約件数の増加により、保険取扱手数料が増加したことから売上高は78百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は51億52百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は3億8百万円（前年同四半期比26.3%増）、経常利益は3億円（前年同四半期比29.0%増）、四半期純利益は1億67百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。これは、すべてのセグメントにおいて売上高が前年同四半期に比べて増加したことから、営業利益、経常利益及び四半期純利益はいずれも増加となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期末連結会計期間末の流動資産は38億74百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億67百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が34百万円増加、現金及び預金が1億31百万円、受取手形及び売掛金が76百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は29億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億15百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億25百万円増加、投資その他の資産が8百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は68億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて51百万円減少いたしました。

##### (負債)

当第3四半期末連結会計期間末の流動負債は33億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億22百万円減少いたしました。これは1年内返済予定長期借入金が29百万円、その他の負債が46百万円それぞれ増加、買掛金が44百万円、短期借入金が93百万円、賞与引当金が25百万円、未払法人税等が35百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は4億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて52百万円減少いたしました。これは長期借入金48百万円、その他の負債が3百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、負債合計は38億45百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億74百万円減少いたしました。

##### (純資産)

当第3四半期末連結会計期間末の純資産合計は29億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億22百万円増加いたしました。これは利益剰余金が1億18百万円、新株予約権が3百万円それぞれ増加したことによるものです。また、自己資本比率は43.5%（前連結会計年度末は41.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、当四半期連結会計期間末には10億2百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は1億26百万円（前年同四半期は1億76百万円の使用）となりました。これは税金等調整前四半期純利益2億83百万円から主に減価償却費70百万円、賞与引当金の減少額25百万円、売上債権の減少額1億12百万円、たな卸資産の増加額1億19百万円、仕入債務の減少額44百万円、その他の資産の増加額20百万円、及び法人税等の支払額1億37百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1億1百万円（前年同四半期は3億83百万円の使用）となりました。これは固定資産の取得による支出2億41百万円、固定資産の売却による収入1億29百万円、貸付金の回収による収入8百万円及び差入保証金の回収による収入2百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億56百万円（前年同四半期は3億54百万円の獲得）となりました。これは借入金の返済による支出1億12百万円、配当金の支払による支出48百万円及び新株予約権の発行による収入3百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想を2月5日に修正しております。

詳細につきましては、平成26年2月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,134,108	1,002,803
受取手形及び売掛金	2,365,078	2,288,507
商品及び製品	348,339	383,233
その他	194,802	200,259
流動資産合計	4,042,327	3,874,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	304,714	517,814
機械装置及び運搬具(純額)	133,977	176,416
土地	2,065,378	1,935,816
その他(純額)	5,254	5,247
有形固定資産合計	2,509,324	2,635,296
無形固定資産	3,815	1,948
投資その他の資産	319,573	311,325
固定資産合計	2,832,713	2,948,570
資産合計	6,875,041	6,823,374
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	525,974	481,188
短期借入金	2,506,610	2,413,422
1年内返済予定の長期借入金	35,115	64,284
未払法人税等	69,798	34,665
賞与引当金	42,578	17,354
その他	290,953	337,629
流動負債合計	3,471,030	3,348,543
固定負債		
長期借入金	297,055	248,842
その他	251,550	247,664
固定負債合計	548,605	496,506
負債合計	4,019,636	3,845,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,439,481	2,558,463
自己株式	△325	△325
株主資本合計	2,849,167	2,968,150
新株予約権	6,238	10,174
純資産合計	2,855,405	2,978,324
負債純資産合計	6,875,041	6,823,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	4,829,281	5,152,009
売上原価	3,639,628	3,896,083
売上総利益	1,189,652	1,255,925
販売費及び一般管理費	945,530	947,649
営業利益	244,121	308,276
営業外収益		
受取利息	1,533	1,417
受取手数料	4,082	2,558
その他	3,353	2,712
営業外収益合計	8,969	6,688
営業外費用		
支払利息	15,157	14,854
開業費償却	4,316	—
その他	973	—
営業外費用合計	20,447	14,854
経常利益	232,644	300,110
特別利益		
固定資産売却益	—	1,509
特別利益合計	—	1,509
特別損失		
固定資産処分損	41	5,766
賃貸借契約解約損	—	12,000
特別損失合計	41	17,766
税金等調整前四半期純利益	232,603	283,852
法人税等	97,018	116,578
少数株主損益調整前四半期純利益	135,584	167,274
四半期純利益	135,584	167,274

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,584	167,274
四半期包括利益	135,584	167,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,584	167,274
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	232,603	283,852
減価償却費	76,800	70,955
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,166	△25,224
受取利息及び受取配当金	△1,533	△1,417
支払利息	15,157	14,854
固定資産処分損益 (△は益)	41	5,766
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,451	112,938
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,540	△119,447
仕入債務の増減額 (△は減少)	△279,555	△44,786
開業費償却額	4,316	—
差入保証金償却額	4,799	—
その他の資産の増減額 (△は増加)	41,078	△20,404
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,449	1,678
小計	△53,820	278,766
利息及び配当金の受取額	27	27
利息の支払額	△14,921	△14,836
法人税等の支払額	△107,331	△137,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	△176,044	126,402
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△393,085	△241,082
有形固定資産の売却による収入	—	129,561
貸付金の回収による収入	8,046	8,046
差入保証金の差入による支出	△5,500	△33
差入保証金の回収による収入	6,776	2,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383,763	△101,119
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	124,602	△93,187
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,710	△19,044
社債の償還による支出	△15,000	—
配当金の支払額	△48,292	△48,292
新株予約権の発行による収入	3,410	3,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	354,010	△156,587
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△205,797	△131,304
現金及び現金同等物の期首残高	1,084,568	1,134,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	878,771	1,002,803

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,951,123	814,002	4,765,126	64,154	4,829,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	171,438	—	171,438	—	171,438
計	4,122,562	814,002	4,936,565	64,154	5,000,719
セグメント利益または損失(△)	259,116	96,689	355,805	△5,628	350,177

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	355,805
「その他」の区分の損失	△5,628
全社費用(注)	△106,055
四半期連結損益計算書の営業利益	244,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,165,869	907,511	5,073,380	78,628	5,152,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	219,095	—	219,095	—	219,095
計	4,384,964	907,511	5,292,475	78,628	5,371,104
セグメント利益	300,114	100,461	400,576	13,453	414,030

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	400,576
「その他」の区分の利益	13,453
全社費用（注）	△105,753
四半期連結損益計算書の営業利益	308,276

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。